

釧路川治水100年記念事業 実施要領

1. 目的

釧路川の治水事業が始まって100年という節目の年を迎え、先人達の遺業を讃えるとともに、改めて流域の発展の基礎となった釧路川の治水の歴史を振り返り、治水事業の担った役割等を再認識し、釧路川流域のさらなる発展と防災意識の向上にむけて、様々な主体が連携し各種取組を実施する。

2. 主催

釧路川治水促進期成会（釧路市、標茶町、弟子屈町、釧路町、鶴居村）
釧路開発建設部、釧路総合振興局

3. 後援

一般社団法人 釧路建設業協会、釧路市建設事業協会、釧路商工会議所、北海道釧路管内商工会連合会、釧路観光連盟、一般社団法人 釧路観光コンベンション協会
一般財団法人 北海道河川財団、一般社団法人 水交会、釧路・リバー・プロテクション・21の会、タンチョウ保護研究グループ、釧路自然保護協会、北海道新聞釧路支社、釧路新聞社、北海道建設新聞社釧路支社、北海道通信社釧路支社、エフエムくしろ、NHK釧路放送局（順不同）

4. 主な取組

- ・ 釧路川治水100年記念_フォーラム
[令和3年11月20日(土)PM——釧路市観光国際交流センター]
(開催延期)
- ・ 釧路川治水100年記念_パネルリレー
- ・ 釧路川治水100年記念_見学ツアー
- ・ 釧路川治水100年記念_釧路川生き物観察会
(悪天候及び緊急事態宣言に伴い中止)
- ・ 釧路川治水100年記念_植樹イベント
(新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止)
- ・ 釧路川治水100年記念_釧路川クリーン作戦
- ・ 釧路川とのなつかしい思い出の写真募集（市民参加型）

5. 広報活動

- ・ 100年記念誌、ロゴマーク、ポスター・チラシ、ホームページ作成

- ・雑誌等へのコラム投稿 など

[釧路川治水 100 年記念ロゴマーク]



釧路川の豊かな自然と共に歩んだ歴史を振り返り、治水が地域に果たしてきた役割とこれからの未来を展望する姿を、釧路川治水 100 年の「100」をメガネや双眼鏡に見立てたイメージ。

四季折々の表情を見せる釧路湿原とタンチョウをモチーフに、釧路川治水の歴史の象徴である岩保木水門を覗かせた。